

指導・評価計画 第1学年 家庭科

1 評価の観点及びその趣旨

①、知識・技能	②、思考・判断・表現	③、主体的に学習に取り組む態度
生活や技術に関する基礎的な知識や、生活と技能について、生活の場面で活用できるように理解したり、知識を身につけている。	教科の知識および技能を活用して課題を解決するなどのために必要な思考力・判断力・表現力を身につけている。	生活に必要な知識や技能を習得し、自らの学習状況も把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしている。

2 「衣生活と自立」「住生活と自立」の評価の観点及びその趣旨ひしき

①、知識・技能	②、思考・判断・表現	③、主体的に学習に取り組む態度
衣服の着用、選択、手入れについて関心をもって学習活動に取り組み、衣・住生活をよりよくしようとする。	衣服の着用、選択、手入れについて課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。	衣服の着用、選択、手入れに関する基礎的、基本的な技術を身につけている。
安全で快適な室内環境能登との絵方と住まい方について関心をもって、学習活動に取り組み、住生活をよりよくしようとしている。	安全で快適な室内環境能登との絵方と住まい方について課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。	住居の機能について理解し、安全で快適な櫃ない環境と住まい方に関する基礎的基本的な知識を身につけようとしている。

3 指導・評価計画

月	項目(学習内容)	評価の観点及びその評価規準	主な評価方法	評価基準 (おおむね満足できる B)	観点別評価観		
4月	〈家庭分野ガイダンス〉 今の自分とこれまで 家庭・社会の仕事 中学生にとっての家族	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の学習を振り返り、3学年間の家庭分野の学習に関心を持ち、見通しを持つことができる。 ・家族の一人として役割を自覚し、家族の意味を理解しようとする。 ・社会のしている家庭の仕事を理解しようとしている。 	・行動観察	小学校の学習を振り返り、3学年間の学習に関心を持ち、見通しをもつて取り組もうとしている。	○		○
			<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ノート提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の学習を振り返り、3学年間の学習に関心を持ち、見通しをもつて取り組もうとしている。 	○		
5月 ～	〈わたしたちの衣生活〉 1 コーディネート 2 和服の文化 3 衣服の選択、手入れ 4 衣服の手入れ 5 洗濯、補修・収納・保管 * 上記の内容を、下の〈布を用いた物の製作〉を通して学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活とのかかわりを考え、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できる。 ・和服の構成や特徴を理解しようとし、和服の持つSDGsを理解しようとしている。 ・日常の衣服に関心を持ち、身体を覆う衣服の基本的な構成や衣服素材について知ることができる。 ・既製の適切な選択方法を知る。 ・衣料材料に応じた日常着の適切な手入れと補修ができる。 ・補修の方法が、練習用の布で実施できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・提出物 ・ノート提出 ・実習態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料材料に応じた日常着の手入れや衣服の補修について関心をもって学習活動に取り組んでいる。 ・衣服と社会生活のかかわりや、衣服の役割、衣服の構成について関心をもって学習に取り組んでいる。 	○		○
			<ul style="list-style-type: none"> ・実習態度 ・提出物 ・作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の役割を踏まえながら、個性を生かす着用について工夫している。 ・日常服の手入れについてどのようにしたらよいか考え、工夫しながら取り組んでいる。 		○	○
			<ul style="list-style-type: none"> ・作品・課題 ・実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料材料や汚れの程度に応じた手入れや補修ができる。 			○
			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・既製の表示と選択時の注意点を理解している ・洗濯の方法と特徴、洗剤の働きについて理解している ・衣服の社会生活上の機能について理解している・衣服の基本的な構成について理解している 	○	○	○

11月	<布を用いた物の製作>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活での活用を考えながら、トートバッグ作りを行うことができる。 ・ミシンを用いる技能を理解しようとし、身につけようとしている。 						
12月 ～	<わたしたちの住生活> 1 人間にとっての住まい 2 生活に必要な住空間 3 自然とともにある住空間	<ul style="list-style-type: none"> ・自分事として騒住まいをとらえ、住まいは生活を支えていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の様子 ・作品 ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を考慮した作品作りをしようとしている ・作品作りの際に、計画や方法を自分なりに工夫している。 ・安全で能率よく製作することができる。 ・縫製の用具や縫い方などの基礎的な知識を身につけている。 	○		○	
		<ul style="list-style-type: none"> ・家族の住まい方や空間の使い方を理解し、自分の住まい方の工夫を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 ・学習の様子 	<ul style="list-style-type: none"> ・住居の基本的な機能や室内環境の整え方について関心を持って学習活動に取り組んでいる。 	○			
		<ul style="list-style-type: none"> ・家族の住まいの希望を生かし、住空間の使い方を考えて工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内環境の課題点を見つけ、整え方を工夫している。 	○	○		
		<ul style="list-style-type: none"> ・住まいや住まい方は地域の特性や生活を反映していることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 ・冬休み宿題 ・実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内環境の整え方を理解し、安全で快適な室内環境を整えることができる。 ・住居の機能、安全快適な室内環境の整え方を理解している。 ・各地域の特性を理解し、それが生活に生きていることを理解している。 	○	○		○
3月	4 安全で健康的な住生活 5 持続可能な住生活	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内事故の種類とその原因を知り、幼児や高齢者にとっての安全な住まい方を考える。 ・健康に住まうために、室内環境の調節方法を理解する。 ・自然災害に備えて、住まいを安全に整備する方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の様子 ・提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での危険な個所を知り、幼児や高齢者にとってどのような工夫をすることができるのか考えることができる。 	○			
		<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害に備えて、住まいを安全に整備する方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 ・学習の様子 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で衛生的に暮らせる環境の整え方を考えることができる。 		○		
		<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現に向けて住まい方の工夫があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の様子 ・実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の恐ろしさを理解して、対応する方法を知り、実行することができる。 		○		○
			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsとの関連性を考えてそれを住生活に生かすことができる。 	○			○

指導・評価計画 第2学年 家庭科

1 評価の観点及びその趣旨

①、知識・技能	②、思考・判断・表現	③、主体的に学習に取り組む態度
生活や技術に関する基礎的な知識や、生活と技能について、生活の場面で活用できるように理解したり、知識を身につけている。	教科の知識および技能を活用して課題を解決するなどのために必要な思考力・判断力・表現力を身につけている。	生活に必要な知識や技能を習得し、自らの学習状況も把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしている。

2 「食生活と自立」の評価の観点及びその趣旨

①、知識・技能	②、思考・判断・表現	③、主体的に学習に取り組む態度
中学生の食生活と栄養や日常食の献立と食品の選び方について関心を持って学習し、地濃をよりよく身につけようとしている。	中学生の食生活と栄養や日常食の献立と食品の選び方について課題を見つけ、その解決を目指して考え、判断することができている。	食品の選び方に関する基礎的・基本的な技術を身につけようとしている。
日常食の調理と地域の食文化について関心を持って学習活動に取り組み、食生活をよりよくするために実践しようとしている。	日常食の調理と地域の食文化について課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。	日常食の調理と地域の食材を生かした調理に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。

3 指導・評価計画

月	項目(学習内容)	評価の観点及びその評価規準	主な評価方法	評価基準 (おおむね満足できる B)	観点別評価観		
4月	臨時休校	臨時休校	臨時休校	臨時休校			
5月	〈わたしたちの食生活〉 1. 食事のとり方 2. 食品と栄養素のかかわり 3. 栄養素のはたらきを知ろう 4. 何をどのくらい食べたらよいか 5. バランスのとれた食生活 6. 6つの食品群	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で食事が果たす役割や、健康と食事とのかかわりについて知る。 栄養素のはたらきを知り、中学生の時期の栄養の特徴について知る。 食品をその栄養的特質によって食品群に分類できる。 食生活の安全と衛生に留意し、食品や調理器具などの適切な管理ができる。 食品の品質を見分け、用途に応じて適切に選択できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の様子 ノート提出 課題提出 実習への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 食事の役割や健康とのかかわり、中学生の身体の発達について関心をもつ。 食品の栄養的特徴について、関心がある。 日常食の調理について関心を持ち、積極的に調理技術を習得しようとしている。 食品の選択と簡単な日常食の調理について関心をもって学習活動に取り組み、食生活をよりよくしようとしている。 地域の食文化調べについて、関心をもって取り組んでいる。 調理実習等に、安全と衛生に配慮して取り組もうとしている。 	①	②	③
～	〈わたしたちの食品の選択と調理〉 1. 食品の選び方 ・用途に応じた食品の選択 ・食品の流通経路 ・生鮮食品の品質の見分け方 ・加工食品の品質の見分け方・食品の表示やマークの内容 ・食品の保存方法を知る。 2. 調理実習 3. よりよい食生活をめざして	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な日常食の調理ができる。 食品の安全性と衛生に留意し、食品や調理器具等の適切な管理ができること。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の様子 実習への取り組み 作品 提出物 	<ul style="list-style-type: none"> 調理の手順や時間を考慮し能率のよい作業を工夫する。 食品の選択と簡単な日常食の調理について、課題を見つけ、その解決方法を目指して工夫している。 地域の食文化を調べた内容について、課題を見つけ、その解決をめざして自分なりに工夫をして課題に取り組んでいる。 		○	○
			<ul style="list-style-type: none"> 学習の様子 作品 提出物 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な調理操作ができる。 各地の郷土料理について、調べることができる。 安全と衛生に留意して簡単な日常食の調理ができる。 		○	○
			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 五大栄養素の種類と特徴や中学生の時期の栄養の特徴や食品の栄養的特徴について理解する。 食品をその栄養的特徴によって食品群に分類できる。 身近な食品の品質の見分け方や、加工食品の表示の読みとることができる。 食品の調理上の性質や基本的な調理方法、調理操作の要点についての基礎的な知識を身につけている。 地域の食文化の特徴や、食生活の課題、問題点について理解している。 			○
3月							○

指導・評価計画 第3学年 家庭科

1 評価の観点及びその趣旨

①、知識・技能	②、思考・判断・表現	③、主体的に学習に取り組む態度
生活や技術に関する基礎的な知識や、生活と技能について、生活の場面で活用できるように理解したり、知識を身につけている。	教科の知識および技能を活用して課題を解決するなどのために必要な思考力・判断力・表現力を身につけている。	生活に必要な知識や技能を習得し、自らの学習状況も把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしている。

2 「衣生活と自立」「住生活と自立」の評価の観点及びその趣旨ひしき

①、知識・技能	②、思考・判断・表現	③、主体的に学習に取り組む態度
衣服の着用、選択、手入れについて関心をもって学習活動に取り組み、衣・住生活をよりよくしようとする。	衣服の着用、選択、手入れについて課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。	衣服の着用、選択、手入れに関する基礎的、基本的な技術を身につけている。
安全で快適な室内環境能登との絵方と住まい方について関心をもって、学習活動に取り組み、住生活をよりよくしようとしている。	安全で快適な室内環境能登との絵方と住まい方について課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。	住居の機能について理解し、安全で快適な櫃ない環境と住まい方に関する基礎的基本的な知識を身につけようとしている。

3 指導・評価計画

月	項目(学習内容)	評価の観点及びその評価規準	主な評価方法	評価基準 (おおむね満足できる B)	観点別評価観		
4月	<幼児の生活と家族> 今の自分と幼児の頃の自分 わたしの生活と家族 中学生にとっての家族	<ul style="list-style-type: none"> 自分の成長を振り返る。 家族の一人として役割を自覚し、家族の意味を理解しようとする。 幼児への関心を持つようにする。 	・学習の様子	小学校の学習を振り返り、3学年間の学習に関心を持ち、見通しをもって取り組もうとしている。	○		○
			・学習の様子 ・提出物	・自分の成長を振り返る。家族の一員として家族の意味を理解できる。	○		
5月 ～	<幼児の家庭と生活> 1 幼児の心と体の発達 2 発達にとっての大人の役割 * 上記の内容を、下の<布を用いた物の製作>を通して学習する。	<ul style="list-style-type: none"> 幼児の身体の発達について発達の方向性や順序性があることを理解する。 個人差があることも理解する。 幼児の言語・認知・情緒社会性の発達について理解する。 泣いているときの気持ちなども理解しようと努める。 	・学習の様子 ・提出物	幼児の体の発達に関心をもって取り組むことができる。	○		
			・ノート提出 ・実習態度	・幼児の心の発達について関心をもって学習活動に取り組んでいる。 ・心身の発達についてを理解して関心をもって学習に取り組んでいる。	○		
			・実習態度 ・提出物 ・作品	・個人差があることや、発達のそれぞれについてひとつずつ理解しようとし、いろいろな場面も工夫してとらえようとしている。 ・幼児のための作品に関心を持って取り組んでいる。 ・工夫しながら制作作品に取り組んでいる。		○	
	<布を用いた物の製作>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活での活用を考えながら、幼児の発達に伴うおもちゃを制作する。 	・作品・課題 ・実技テスト	・幼児のための作品づくりに意欲をもって作り、縫うことの技能を身に着けようとしている。 ・安全で能率よく製作することができる。 ・縫製の用具や縫い方などの基礎的な知識を身につけている。			○
			・定期考査	・幼児の特徴を理解しているb。 ・幼児の体と心の発達を理解している。 ・言語、認知、情緒、社会性の順序や発達を理解している。			

11月							
12月	〈消費生活・環境〉 1 家庭生活と消費 2 購入支払いと生活情報 3 消費者被害と消費者の自立	・物資とサービスの仕組みがわかる。 ・消費生活の仕組みがわかる。 ・収支のバランスを図り、計画的に金銭管理ができるようにする必要があることをわかるようにする。 ・店舗販売と無店舗販売との違いを理解する。 ・売買契約について問題発生の原因や方法を含め理解する。 ・支払い方の違いを理解しそれぞれの特徴を知る。 ・自立できる消費者になれるように被害の現状や予防の方法を理解する。 ・消費者の権利と責任を理解する。	・学習の様子 ・作品 ・定期テスト	・消費生活を理解しようとしている。 ・収入、物資、サービスを理解している。	○	○	○
			・提出物 ・学習の様子	・消費生活の基本的な機能や購入、支払いに関心を持って学習活動に取り組んでいる。	○		
2月	〈消費生活と環境〉 4 持続可能な社会	・購入をとおして消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解する。 ・環境に配慮した生活ライフを選択し、実践する。 ・各国と連携した持続可能な生活を背う説で来るように努力する。 ・体験を通しより持続可能な生活を送れるように実践していく。	・提出物 ・定期テスト	・悪徳商法の課題点を見つけ、引っかけないように生活の中で工夫している。		○	
			・提出物 ・冬休み宿題 ・実技テスト	・自立するための支援方法を理解し、生活に利用して安全で快適な生活を送れるように生活を整えることができる。		○	○
			・定期テスト	・消費生活で持続可能な社会の作り方を理解している。			○
			・学習の様子 ・提出物	・生活を持続可能にしていくための方法を工夫したり、理解していかし取り組んでいる。	○		
			・提出物 ・学習の様子	・持続可能な社会の存続方法を工夫している。		○	
・学習の様子 ・実技テスト	・持続可能な社会を作るための工夫を理解して、作品づくりに取り組んでいくことができる。			○			
			・定期考査 ・小テスト	・持続可能な社会のついて理解している。 ・持続可能な社会を作るための工夫、方法を理解している。			